

5月14日(土)

発行 市川市議会
編集 議会運営委員会
市川市八幡1-1-1 ☎334-1111
http://www.city.ichikawa.lg.jp/
cou01/154100002.html

2月定例会号

市議会だよりは原則として、定例会が終了した月の翌々月の第2土曜日と1月1日に発行(新聞折り込み)しています。
今回の市川市議会は5月に臨時会が開かれる予定です(定例会の開会予定日は8面に掲載)。

いちかわ

市議会だより

2月定例会

当初予算案などを可決

市長の施政方針に各会派が質疑



災害に強い 「安全で快適な魅力あるまち」へ

市内の防災公園

災害時は一時避難場所や被災の前線における救援拠点や輸送の中継拠点として機能。地下に設置された耐震性飲料用貯水槽により、避難者に対し3日間分の飲料水が確保される。広場は、災害時にヘリポートとしても使用される。

- 大洲防災公園(大洲1-18) 避難者 1万人を想定。
- 広尾防災公園(広尾2-3-2) 避難者 1万3千人を想定。

写真：(右上)大洲防災公園と(右下)隣接する急病診療・ふれあいセンター、西消防署大洲出張所
(左上)広尾防災公園 (中央)防災用MC A無線機

施政方針

平成23年度当初予算案などを審議する2月定例会を2月14日から開きました。初日に大久保博市長が施政方針演説を行い、続いて施政方針及び当初予算案とそれに関連する条例案に対する各会派の代表質疑、その他の議案に対する質疑、請願などの審議を行いました。しかし、3月11日に発生した東日本大震災により、一般質問の途中で休会となり、3月18日をもって閉会となりました。(代表質疑2〜5面、一般質問6〜7面、審議結果一覧8面に掲載)

大久保博市長は施政方針演説で、「任期の2年目を迎える新年度は、待機児童対策、地域経済の活性化、市民からの要望など、様々な問題の解決に全力を尽くして取り組んでいく」と述べ、新年度の重点施策として、(1)安心なまちづくり、(2)快適なまちづくり、(3)活力のあるまちづくりの3項目、主要施策として、(1)「真の豊かさを感じるまち」を目指す施策、(2)「彩り豊かな文化と芸術を育むまち」を目指す施策、(3)「安全で快適な魅力あるまち」を目指す施策、(4)「人と自然が共生するまち」を目指す施策、(5)「市民と行政がともに築くまち」を目指す施策の5項目を挙げました。

市川市議会の議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例を可決

議会は、議員の位置付けを明確にするため、議員報酬に関する規定を他の行政委員会の委員等の報酬に関する規定から分離する条例案を協議し、これを全会一致で可決しました。

被災者の皆様にお見舞い申し上げます

このたびの東日本大震災により、お亡くなりになられた方々のご冥福を心からお祈り申し上げますと共に、被災された多くの方々に謹んでお見舞い申し上げます。

また、一日も早い復興を心からお祈り申し上げます。

市川市議会議員団は、東日本大震災被災地域に対し、全国市議会議長会を通じて、50万円の義援金を3月23日に贈りました。

◆審議結果

本会議での採決の結果、市長提出議案48件をいずれも原案通り可決・同意し、諮問5件を異議ない旨答申しました。また、議員提出の条例案1件を可決しました。その他、請願3件を採択、3件を不採択とし、陳情1件を不採択としました。

◆主な議案

○市川市美術品等収集審査会条例の制定について
審査会、審査会等の附属期間の設置について、全体的な見直しを行ったことを踏まえ、市が収集する美術品等の評価について、調査、審議する附属機関を設置するものです。

【主な質疑】

「審査会の委員は5人以内で組織することだが、美術品といっても多岐にわたる。審査する美術品に関して、委員に専門性の差が出ると、最も高い専門性を有する委員一人だけの意見で決まってしまうという懸念はないか。」との質疑に対し、「審査会の委員は、一定期間を定めて委嘱するのではなく、審査する美術品ごとに、その都度、5人以内を委嘱し、調査、審議が終了した時点で解散となり、特定の人だけが専門性を有するということはない。」との答弁がなされました。

◆当初予算

当初予算は、一般会計が対前年度比4.6%増の132.6億円、特別会計は、7会計を合わせて73.7億4100万円、同6.2%増、公営企業会計の病院事業は30億2200万円、同3.8%増。総額では209.3億6300万円、同5.1%増となっています。

◆その他、条例案などの主なもの

自転車の安全利用について、市、自転車利用者、関係団体等の責務を明らかにし、それぞれがその責務を果たすことにより、自転車利用者の危険な運転の防止と自転車の安全利用に関する普及啓発を図るための「市川市自転車の安全利用に関する条例の制定」などの条例案の他、平成22年度一般会計補正予算案、8つの特別会計補正予算案などが提案されました。

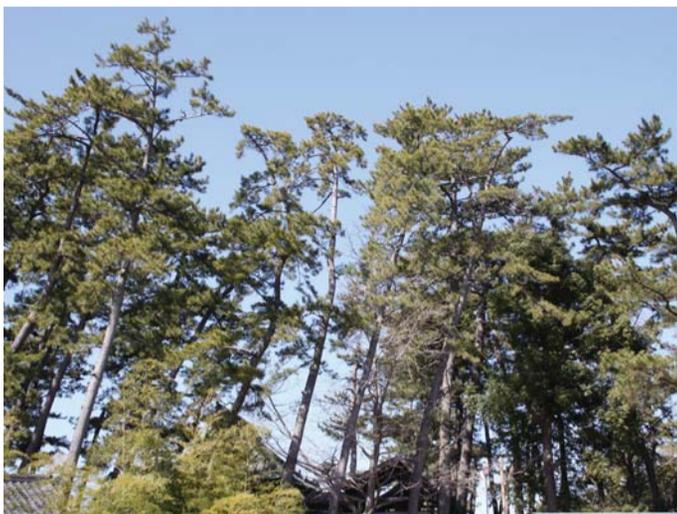
代表質疑

市川市議会では、毎年2月定例会で会派の代表が会派独自の立場から質疑をする代表質疑を行っています。代表質疑の対象は、市長の施政方針と新年度予算の内容及びこれに関連する条例案で、質疑時間は、会派の均等割り時間60分に所属議員数×15分を加えた時間(3人に満たない会派は議員1人につき20分)です。この中から会派が指定した項目の主な内容を掲載しました。
 ※会派別議員名は3月18日現在のものです。

社民・市民ネット

かつまた竜大 秋本のり子

湯浅 止子



平田特別緑地保全地区

市民との協働

問 施政方針にある、マーケティング手法を活かし、市としての重点施策を選択、集中して進めていくという市長の考えは理解する。

今般、少子高齢社会となり、 税金も伸びない状況において、すべての行政サービスを公費で賄う時代ではなく、市民との協働も、市民の声を聴くという公聴のチャンネルだけの協働の在り方ではなく、「新しい公共」としてその本質が問われていると考える。市の見解を問う。

答 近年耳にする「新しい公共」とは、人や地域を支えるという役割を、行政だけでなく、教育、街づくり、福祉等の各分野において地域に関わる人も参加してもらい、それを社会全体で構築していくというものである。平成17年度から実施している1%支援制度は、公共サービスの新たな担い手として、ボランティア団体、NPO等の活動が幅広く地域に根づく、行政との協働により展開されることを目的の一つとして、今後、団体への支援を充実させ、新たな担い手の創出に努めたいと考えている。

自由クラブ

増田 三郎 中山 幸紀

加藤 武央 五関 貞

井上 義勝 高安 紘一

東京外郭環状道路

問 施政方針に、東京外郭環状道路関連について、これを活かした沿線の街づくりに向けた取り組みを進めるとのことだが、具体的な取り組みを問う。

答 東京外郭環状道路を活かした街づくりとしては、これまで、小塚山公園の整備、文教ゾーン構想の実現、都市計画道路の拡張などを様々な角度から取り組んできた。今後、環境施設帯を地域のコミュニティに活かす工夫を始め、住民の意見を



東京外郭環状道路工事用道路(仮橋)

聞きながら、事業者と共に広く、地域の街づくりや地域の課題改善につながるよう、検討していく。

市長目安箱

問 市民の声を聞く方法として、平成22年5月に設置した市長目安箱に250件を超える提案や要望の投稿があったと聞く。これまでにどう対応してきたのか。また、その提案等を踏まえ、今後どのように市政運営を進めていくのか。

答 投稿の内容を見ると、新たな施策に関する提案の他、個々の事業に対する要望、意見等も多く頂いた。投稿の内容は市長自ら確認し、すぐに対応できるものは所管部署に指示し、予算を伴う時間をかけて検討すべきものは、副市長や各部長と協議し決定している。

待機児童の解消

の

問 施政方針に、待機児童の解消と待機児童を生み出さない施策として、妙典地区への保育園の開設や既存保育園の建て替え等を掲げている。この施策でどの程度

解消されるのか。また、市の中部地域や北東部地域の解消対策の考えを問う。

答 平成22年に市川市保育計画を策定し、待機児童解消のため、725名の定員増を目標として、保育園整備を始めた。保育園整備を推進している。

23年度は、妙典地区に定員100名の(仮称)あじさい保育園を新設すると共に、国府台保育園他、2カ所の保育園の建て替えで、170名の定員増を行う。

更に、24年度には、信篤地区の保育園の新設と既存保育園の建て替えで、140名の定員増を図っていく。

市の北東部地区の解消策としては、新設園と既存の私立保育園の増設で100名の定員増を図った。また、中部地区では、信篤地区の新設を予定しているが、待機児童が多い市川、八幡地区については、今後も保育園整備を中心に、待機児童解消に向けた施策を進めていきたい。

これからも、子育て家庭の様々な保育ニーズに対応した施策を総合的に推進することで、待機児童の解消に取り組んでいく。

市庁舎の整備

問 市役所庁舎の建て替えは、耐震上の問題もある中、大変な課題であり、担当部署も苦勞していると思う。市民の関心も高いことから、具体的な建て替えの検討事項と内容を問う。

答 市庁舎の整備については、庁舎整備方策調査業務委託の中で複数の庁舎整備の方策案や、事業推進における課題と解決案等の具体的な検討事項の提案を受け、予定である。この結果は、平成23年12月末を目途に報告があり、それを基に、一定の方向性を考えていきたい。

庁舎整備に当たっては、利用者の安全確保を第一に、市民にとって親しみやすく、また、利用しやすい庁舎となるよう、市民や議会の理解を得ながら検討していきたい。

自転車の安全利用

問 自転車の運転を見ていると無灯火や二人乗りなど危険な場面に遭遇することがある。運転マナーを徹底すべきだが、実態として自動車運転のような取り締まりは困難と思われる。

交通安全対策として「市川市自転車安全利用に関する条例」を制定することだが、同条例制定後の

効果をどう考えているのか。

答 本市では、自転車に関する交通事故の割合が千葉県内でも高く、マナーの悪い自転車運転に危険を感じる市民が多いことから、同条例案を提案した。

条例の実効性を高めるために、自転車の正しい乗り方の交通安全指導の対象者を拡大し、事故の多い中学生や高校生、高齢者にも実施すると共に、一般の方を対象とした「自転車安全利用講習会」を開催したいと考えている。

また、自転車利用時の正しいルールと条例制定に関する周知啓発活動として、自転車利用者への街頭指導の継続や条例施行のチラシを配布する。

代表質疑

(発言順及び時間)

公明党(180分)、自由クラブ(150分)、民主・市民連合(135分)、日本共産党(135分)、市民の声(120分)、緑風会(120分)、社民・市民ネット(105分)、みらい(105分)、道(20分)、つばさ(20分)

※代表質疑の記事は3名以上の会派のみ掲載しています。(会派別議員名簿は8面に掲載。)

市民の声

宮田かつみ プリティ長嶋
坂下しげき 鈴木 啓一



障害児用更衣スペースと温水器を整備した放課後保育クラブ

放課後保育クラブ

問 放課後保育クラブは、保育時間の延長希望が多い。平成23年度予算でどの程度の希望が受け入れられるのか。また、障害児の受け入れも、長い間要望してきたが、保護者の希望に沿えるように整備しているのか。

答 23年度の放課後保育クラブ入所申請は、22年12月から随時受け付けている状況で、現段階ではまだ延長利用者は確定していないが、入所申請者約3100人中、約20%が保育時間の延長を希望している。

アイ・リンクタウン

問 市長は、市民の声を市政に反映させることを重点に置いているが、同感である。しかし、市民の声を漏れなく汲み取ることが難しく、聞き取る仕組みの構築を効果的に配分するために

事業仕分け

問 市長は施政方針で、限られた予算の中で、市民の声を最大限に反映させる政策を実施するためには、既定の予算の見直しや精査が必要になると述べている。

答 本市ではゼロベースでの事業費の積み上げを行うなど、職員による内部の事業仕分けを行ったと聞く。既定予算のゼロベースの見直しは、限られた予算を効果的に配分するために

国民健康保険

問 国民健康保険制度は、市民の命と健康を守り、人が生きていくための基本的制度である。それが不安定であれば、憲法第25条の健康で文化的な最低限度の生活さえ脅かされることになる。等しく医療が受けられる国民皆保険制度から排除され、医療が受けられなくなることは、あってはならない。医療費の窓口負担軽減、国保税の引き下げ、減免基準の拡大などについて、どう考えているのか。

答 医療費の窓口の一部負担金の免除は、本市においても、国から示された基準に沿って対応できるように、準備を進めている。国保税の引き下げや、減免基準の拡大は、税収の減を一層見込まなければならず、その財源は、一般会計からの繰り入れなどに頼ることになる。一般会計の財源は市税であり、市税を多大に国保に繰り入れることは、国保以外の保険加入者にとっても、税の二重負担を招くことになる。国保加入者の中には、苦しい家計の中から納税している方が居ることもあるが、税の負担も事実であるが、税の負担の公平性を損なうことのないように考えている。

日本共産党

金子 貞作 清水みな子
二瓶 忠良 桜井 雅人
谷藤 利子

地域経済の活性化

問 前回のプレミアム商品券は市民に大変好評であったと聞いている。地域経済を活性化させることは、今の経済状況の下、何よりも求められていることである。商品券発行の経済効果をどのように考えているのか。

答 地域経済活性化の一環として、住宅リフォーム助成は多くの事業者が関わることになり、経済効果も見込めると考えるが、検討しているのか。

問 平成21年度に発行したプレミアム商品券は、購入者が実際に地域で買い物をして、市内の店舗の売り上げが増加していることなどから、即効性のある経済効果が得られたと考えている。商品券を取り扱った店舗のうち、半数近くが制度の継続を希望していることから、前回の検証結果を踏まえ、発行額を増加するなど、更なる

市政運営

問 自民党政権から民主党政権に代わり、多くの国民は期待を持ったが、一向に変わらないことに、批判を強めている。

答 平成22年度は、ハローワーク市川、市川商工会議所と合同して、大学卒業予定者、高校卒業予定者、障害者対象、40歳未満の一般求職者対象の就職面接会を開催している。23年度も、引き続き面接会を実施すると共に、障害者、高齢者、母子家庭の母親を雇用した事業主に対する奨励金交付事業も拡充していきたい。

また、失業者対策として、県の緊急雇用創出基金等を活用した民間事業者などへの委託事業や、市の実施事業などを進め、より多くの雇用創出につなげていく。

就労機会の拡充

問 働きたくても働くところがみつからないという就労希望者が、若い人から高齢者まで大勢いるのに、一向に改善されない深刻な事態が続いている。

答 働くことは、生活を維持していくのに最低限必要な条件であり、自己責任に回避することはできない。市としても、就労機会の拡充を行っていくことだが、どのように取り組んでいくか考えたい。

問 平成22年度は、ハローワーク市川、市川商工会議所と合同して、大学卒業予定者、高校卒業予定者、障害者対象、40歳未満の一般求職者対象の就職面接会を開催している。23年度も、引き続き面接会を実施すると共に、障害者、高齢者、母子家庭の母親を雇用した事業主に対する奨励金交付事業も拡充していきたい。

また、失業者対策として、県の緊急雇用創出基金等を活用した民間事業者などへの委託事業や、市の実施事業などを進め、より多くの雇用創出につなげていく。



平成21年度プレミアム商品券取扱店掲示用ポスター

代表質疑

民主・市民連合

佐藤 義一 石原美佐子
 並木 まき 荒木 詩郎
 守屋 貴子



市川市役所本庁舎

市庁舎の整備

問 市役所本庁舎の整備事業について、庁舎整備方針調査業務委託の実施はどの程度進んでいるのか。また、総合的な庁舎整備の方向性を検討しているとのことだが、議論の進捗はどうか。

答 庁舎整備方針調査委託の進捗状況については、現在、発注の準備を進めており、4月中には事業者を決定する予定である。また、建て替えについては、庁舎の整備手法には全面建て替え

意気込みの表れと認識している。条例制定に向けてのビジョンと、その実効性を担保するためにどのような施策を考えているのか。

答 地域経済活性化には、いまだに景気先行きの見えにくい苦しい時期を支え、将来的な企業業績の回復、あるいは新規雇用の確保や消費の回復といった好循環の実現が、本市の活力につながるものと考えられる。本条例では行政、事業者、経済団体の役割や市民の理解と協力を位置づけており、市全体で産業振興を図るという意識を醸成することで、本市の持続的な発展を可能にしていきたい。

問 同様の基本条例を制定している他市においては、地域の特性を意識し、その目指す姿を明確に定めているところが多く見受けられる。本条例の「市川らしさ」とはどういったものを想定しているのか。

答 本条例は、地域事業者の活用や地域雇用の推進あるいは大規模小売店舗設置者の役割等を定めているなど他市にはない特色もある。また、大消費地・東京都に隣接し、外環道路の開通等のアクセス向上が進むといった強みを生かした施策展開を図り、地域社会の発展につなげることで「生き生きと暮らせるまち」を目指していく。

産業振興基本条例

問 市川市産業振興基本条例の制定は、地域経済の活性化、発展を目指す市長の

子育て支援

の考え方と今後の方向性について、市の考えを問う。

答 今回の助成拡大は県に先駆けて実施するものであり、ひとつの目標を達成できたものと考えている。この10年で当該分野の予算計上額が約3倍近い伸びとなっていることもあり、今後も負担できる人には応分の負担をお願いすることで、持続性のある制度として運用することを考えている。

問 市長は施政方針で子育て支援施策として7事業を挙げていたが、これらの内容と方向性を問う。また、母子家庭施策も掲げられているが、同じくひとり親である父子家庭についてはどう考えているのか。

答 市では平成22年度から5年間の次世代育成支援行動計画を策定している。23年度に実施する事業としては、保育園の建設、自宅で保育を行う「ファミリー・まま」の拡充、簡易保育園利用者への補助といった待機児童解消施策の他、地域における子育て支援として「マイ保育園登録制度」の試行実施や、ひとり親家庭のホームヘルプサービスといった子育て家庭への支援施策などの展開を考えている。このうち、ひとり親家庭にホームヘルパーを派遣するホームヘルプサービスは、家事や育児への支援を求める声が多い父子家庭も対象となっている。

子ども医療費助成

問 子ども医療費の助成については、平成23年度から対象を中学校3年生にまで拡大すること、大変評価している。新年度施策

問 本八幡A地区第一種市街地再開発事業の進捗状況はどうなっているか。

答 本八幡A地区再開発事業については、平成22年8月から住宅棟と業務棟を建設する第一期工事に着手しており、現在は基礎工事を進めている。進捗状況は、ほぼ計画通りである。

問 事業支援による地域経済への効果は、事業期間中は、工事従事者等が多くなることから、周辺商店街の活性化等が図れるものと考えているのか。

答 東京ベイ・浦安市川医療センターは、最新の医療設備を備えた救急医療、時間外救急受け入れを毎日実施する体制を目指す小児医療、市内の出産需要に対応できる体制を目指す周産期医療、高齢化に対応した医療の、4つの医療機能を重点として行っていく計画となっており、この点が特色であると言える。

本八幡A地区再開発

また、市が事業を支援することで、地域経済にどのような影響があると考えているのか。

地域医療

約1年をかけて、皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科、麻酔科、心療内科を準備し、最終的に16の診療科目を予定している。

問 今後の支援策として、開院後、地域において新たな医療ニーズに配慮する場合、市川市として政策的見地から、実施すべき医療サービスが発生した場合は、その都度、協議していきたいと考えている。

財政健全化

問 一部では、国の財政は徐々に持ち直して来ていると言われているが、現実にはまだまだ厳しい財政状況となっており、この点が特色であると言える。

答 診療科目としては、平成24年4月の開院時点では、内科、小児科、循環器内科、外科、整形外科、脳神経外科、小児外科、泌尿器科、産婦人科、リハビリテーション科、放射線科の11診療科を予定しており、その後、



本八幡A地区再開発事業完成イメージ

問 このため、現在、財政健全化に向けた指針づくりに取り組んでいるところであり、作成中の指針では、歳入に見合った予算編成を行う財政体質の改善、弾力的な歳出構造への転換を図る財政構造の改革、事業仕分けなどの予算編成プロセスの公開による財政の透明性の確保の3つの取り組みを進め、将来にわたる本市の財政健全化の基盤を築いていきたい。

答 総務省から示された23年度「地方財政の対応」によると、本市のような地方交付税不交付団体は、今後3年間で段階的に財源不足を補う市債の発行ができなくなるなどのこと、今後、新たな歳入の確保と歳出の削減が大きな課題となり、単独事業への影響が考えられる。

松永修巳議員(緑風会)

- 安全安心なまちづくりの実現に向けて
- (1)情報の共有のあり方と防犯具体策について
- (2)交通安全対策の充実に向けて
 - ア. 田尻地区内市道3路線(6156・6148・6146号)の整備・安全対策の進捗状況は
 - イ. 二俣架道橋に通じる道路に停止線及び標識設置についての考え方は
- (3)中山法華経寺参道整備後の安全確保策について
- (4)行徳・徳願寺前市道整備後における地元利用者の声をどう受けとめ対応するのか
- (5)原木西浜公園周辺道路の整備見直しは
- スポーツ施設の整備と振興策について
- (1)原木公園隣接の国有地を運動施設として整備する見直しは
- (2)パークゴルフ場新設についての考え方は
- (3)スポーツ吹矢の普及振興についての考え方は

金子貞作議員(日本共産党)

- 大町レクリエーションゾーンについて
 - ・施設の連携の現状と利用者をふやす今後の方向性について
- 緑地行政について
 - ・市川大野駅を中心とした緑地の整備、遊歩道のその後について
- 清掃行政について
- (1)塵芥等収集委託の契約方法、考えについて
- (2)ごみ分別の徹底、出し方について
- 契約について
 - ・指定管理者制度について
- 市政一般について
 - ・中小企業金融円滑化法の市民への周知、相談体制について

並木まき議員(民主・市民)

- 広報いちかわについて
- (1)事業仕分け結果を受けての変更点 (2)媒体としての活用
- (3)今後の方向性 (4)障がい者への配慮について
- ペットを飼養する市民への施策
- (1)ドッグラン事業 (2)飼養者のマナー・モラル啓発
- 地域経済活性化
- (1)現存する施策の現状と課題 (2)今後の方向性と方策

宮本均議員(公明党)

- 市川南第1排水区、市川南ポンプ場の計画、効果について
- 外環道路に接続する道路整備について
- 教育行政について
- (1)学校施設のバリアフリーについて
- (2)通学路等における児童等の安全の確保について
- 今後の市政運営と公会計制度の充実について市の見解を伺う

戸村節子議員(公明党)

- 保健行政について
- (1)子宮頸がんワクチンの公費助成について
- (2)肺炎球菌ワクチンのその後の検討はどのようになっているのか
- 道路交通行政について
- (1)京成曳越駅の駐輪場対策について
- (2)国道14号の本八幡駅周辺2カ所へ右折信号を設置できないか
- 若宮及び本北方地域の下水道計画について

加藤武央議員(自由クラブ)

- 市営住宅の居住環境の改善について
- (1)大町第一団地A棟にエレベーター設置の質問のその後について
- (2)平成23年1月19日に提出された、エレベーター設置の要望書に対する市の考え方について
- 保育園の諸問題について
- (1)待機児童解消について (2)第3子保育料無料化について
- 市内の市街化調整区域について
- (1)地域別の特性と認識について
- (2)市内の市街化調整区域の現況の課題と今後について
- 市内スポーツ施設への有料広告について
- (1)有料広告の募集方法と料金設定について
- (2)有料広告の掲示場所決定について

堀越優議員(公明党)

- 危機管理について
- (1)市川市で想定される危機について
- (2)市川市の危機管理体制について
- (3)市民、関係団体との連携について
- 発達障害児教育について
- (1)小学校の発達障害児の受け入れ状況について
- (2)特別支援学級の設置されている学校に地域的な偏りがあるのではないかと
宮久保、北方地域での学級の開設について
- 道路行政について
 - ・県道180号をくぐる下貝塚3丁目地先トンネル道路
 - ア. 状況の認識について イ. 今後の対応について
- 春木川護岸関連工事について
- (1)工事の進捗状況について (2)工事に対する市の認識について
- (3)工事スケジュールについて

一般質問の
通告項目

2月定例会は、東日本大震災の発生により一般質問の途中で休会し、そのまま閉会したため、通告者全員が質問を行うことができませんでした。

一般質問は事前に質問項目を通告して行われ、2月定例会では、26人の議員が一般質問の通告を行いました。ここでは、各議員からの通告項目を掲載します。

<会派の略称>

民主・市民＝民主・市民連合
社民・市民＝社民・市民ネット

(掲載は通告順)

坂下しげき議員(市民の声)

- 市民本位の政策の実行について
 - ・今までの政策の見直し、市・県単独政策の現状と今後の見直し、歳入の確保、説明責任・政策責任の明確化
- 市民の生命・安全を守る政策について
 - ・交通事故・犯罪の低減、がん検診の検診内容及び受診率の向上、救急救命体制の充実、消防用水の確保、施設修繕計画の策定
- 市民生活の利便性の向上について
 - ・国・県の窓口機関を設置する必要性と、これを踏まえた市の施設の充実と見直しについて

大川正博議員(公明党)

- 市政一般
- (1)国家公務員の昇給幅の抑制で地方公務員のラスパイレス指数上昇傾向をどのようにとらえているか
- (2)市川市におけるラスパイレス指数に対する取り組みと成果について
- 土木行政
- (1)行徳橋かけかえの見直しについて
- (2)行徳駅前通りとバイパス交差点右折信号設置の進捗状況について
- 保育行政
- (1)平成23年度4月期における待機児童数の見込み(北部・中央部・南部)と解消対策について
- (2)第3子保育料無料化市川市基準の維持継続の考えについて

宮田かつみ議員(市民の声)

- 福祉行政について
 - ・障害者福祉実施計画について
 - 関係者(団体)の意向・意見の反映はされているか伺います
- 道路行政について
 - ・狭隘道路の解決策について
 - ア. 安全対策は イ. 進捗状況は
- 財務行政について
 - ・将来財政・財務について伺う

プリティ長嶋議員(市民の声)

- AED設置の現状と課題について(ガイドライン2010を含めて)
- (1)消防局における現状と課題について(ガイドラインが変更になることを含めて)
 - ア. 救命講習の現状と今後の計画について
 - イ. 一般市民(バイスタンダー)によるAED使用の救命事例について
 - ウ. ガイドライン2005から2010への変更について
- (2)市職員における救命講習の現状と課題について
 - ア. 職員への救命講習実施について
 - イ. ガイドラインの変更に伴う啓発について
- (3)教育の現場でのCPRとAEDの現状と課題について
 - ア. 学校におけるCPRの取り組みの現状と今後の推進について
 - イ. 学校教育における「命を大切に教育」の現状と今後の取り組みについて

守屋貴子議員(民主・市民)

- 子育て支援について
 - ・第3子保育料無料化について
 - ア. 現在に至る経緯と考え方について
 - イ. 今後の市の対応と方向性について
- 花と緑のまちづくりについて
- (1)緑量調査の結果とそれを踏まえた今後の取り組みについて
- (2)市の木クロマツ、巨木の保全及び育成について
- (3)緑の保全・育成について、桜オーナー制度について
- (4)ガーデニング・シティ いちかわの取り組みについて
- 防犯について
 - ・市内での犯罪の発生率と市の対応について
- 疾病予防について
 - ・インフルエンザ予防接種の助成に対する市の考え方について

松永鉄兵議員(緑風会)

- 本市におけるスポーツ環境整備の考え方について
 - (1)現状の市の認識 (2)スポーツ施設整備の計画並びに方向性について
 - (3)スポーツ施設管理・運営の方向性について
- 本市庁舎のあり方について
 - (1)市役所が担うべき機能(役割)をどうとらえているのか
 - (2)今後本庁舎が担うべき機能とは (3)今後の市の取り組みについて
- じゅん菜池公園の整備・運営について
 - (1)現状の取り組み及び課題認識 (2)今後の取り組みについて

小林妙子議員(公明党)

- 教育行政
 - ・通学区の現状と課題について(信篤小、二俣小、鬼高小、稲荷木小)
- 子ども行政
 - ・信篤地区の保育園の待機児童解消について
- 福祉行政
 - ・高齢者の困りごとに対する支援について
- 道路行政
 - ・京葉道路(鬼高パーキング脇)にかかる鬼越歩道橋の改修について

松葉雅浩議員(公明党)

- 北西部の課題について
 - ・北国分・堀之内地域における集会施設の拡充の考え方について
- 治水対策について
 - (1)菅野・真間地区の治水対策について (2)市川2丁目地区の治水対策について
- 防犯対策について
 - ・防犯カメラの増設に対する市の考え方について

かつまた竜大議員(社民・市民)

- 公立幼稚園の統廃合問題について
 - ・教育委員会の方針を伺う
- 都市計画道路3・4・18号整備事業について
 - (1)裁判と収用の問題について (2)計画と手続について
- 平和事業について
 - ・今後の方針・展開を伺う
- 菅平高原いちかわ村について
 - ・事業仕分けの内容と結果に関して

湯浅止子議員(社民・市民)

- 子どもの貧困について
 - (1)市内公立小中学校の要保護及び準要保護児童生徒の状況と対応
 - (2)市内の子どもの虐待の状況と対策・問題点
- 市川に残る伝統行事について
 - (1)市川に伝わる地域の行事や伝統的諸事についての状況と保存等の支援の状況
 - (2)今後の取り組みと課題
- 街回遊展について
 - (1)平成23年度の計画と今後の方針 (2)今までの問題点

鈴木啓一議員(市民の声)

- 消防行政について
 - ・雑居ビルの防火対策について
- 市民窓口行政について
 - ・市川駅行政サービスセンターについて
- 労務管理について
 - ・昼休み時間の延長について
- 道路行政について
 - ・産業道路(県道若宮西船市川線)の鬼高3丁目地先の冠水対策について
- 市政一般について
 - (1)市川市民芸術文化賞・奨励賞について (2)危機管理部のあり方について

佐藤義一議員(民主・市民)

- 市政一般について
 - (1)市の職員は減り続けている。人件費削減のためとはいえ、これは市民サービスの低下につながるのではないかと、どこまで職員の削減をするのか、当局に問う
 - (2)江戸川の(仮称)大洲橋計画のその後について

市川市から震災被災地へ 人員・物資など様々な支援

3月11日に発生した東日本大震災に際して、本市からも被災地への支援として様々な活動が行われました。

津波で甚大な被害を受けた岩手県陸前高田市へは、消防局隊員27人が派遣され、消火・救急活動を行いました(3/14～18、後方支援・救急隊は～3/21)。また、災害時相互応援協定に基づき茨城県ひたちなか市へ応援物資を送った(3/18)他、浦安市へは、被災建物調査(3/15～17)、下水道管渠の調査(3/14～4/8)等に職員を派遣するなどの支援が行われました。



被災地で活動する本市消防局隊員

石原美佐子議員(民主・市民)

- 平成24年度実施の中学校の武道必修について
 - (1)完全実施に向けて23年度の計画 (2)柔道、剣道の授業内容
 - (3)指導者について
- 保育園の待機児童解消に向けた取り組みについて
 - (1)本市の基本的な考え方 (2)具体的施策
 - (3)子育てコーディネーターの設置について

稲葉健二議員(緑風会)

- 災害時要援護者について
 - (1)災害時要援護者名簿登録の状況について
 - (2)災害時要援護者登録制度の名簿取り交わしについて
 - (3)要援護者の定義と支援者、支援団体に求める内容と方向性
 - (4)各種団体との連携について
- 市民活動やボランティア活動の支援について
 - (1)支援の基本的な考え方について (2)活動拠点の支援の考え方について
 - (3)1%支援制度の今後の考え方と方向性について
- 公民館について
 - (1)現在の利用状況と予約方法について(前回の質問からの検討事項も含めて)
 - (2)公民館図書室の考え方(前回の質問からの検討事項も含めて)
 - (3)生涯学習の推進と一般貸し出しの考え方について

桜井雅人議員(日本共産党)

- 民間建築物の耐震化について
 - ・耐震改修促進計画が策定され3年たつが、この間の耐震化の実績、課題及び今後の取り組みについて
- 教職員の勤務実態、健康管理、労働安全衛生対策について
- 国民健康保険の医療費窓口負担の減額・免除の考え方について
- 市境の駐輪場及び放置自転車について
 - ・船橋法典駅、下総中山駅、原木中山駅周辺の駐輪場の現状と放置自転車対策について

増田三郎議員(自由クラブ)

- 安全で安心して住むことができる市川市の街づくりについて
 - (1)総武線以南(南八幡地区)の無電柱化とバリアフリー対策の今後について
 - (2)行徳臨海部の今後の整備計画と対応について
 - ・三番瀬の再生と東浜、石垣場の今後の整備計画について
 - (3)危機管理体制について
 - (4)大和田地先に建設が予定されている(仮称)大和田ポンプ場と同地先の江戸川堤防とその周辺の整備計画について
 - (5)東京外郭環状道路建設に伴う国道298号の新設によって、街づくり計画が現在どのように進展しているのか(須和田、菅野、平田、大和田、稲荷木地区)

清水みな子議員(日本共産党)

- 血清研究所跡地の利用について
 - (1)跡地利用の市の考えについて
 - (2)赤レンガ建物の文化財登録の考えについて
- 第2期市川市ホームレス自立支援実施計画の推進状況について
 - (1)市内のホームレスの現状について (2)自立支援推進のための課題について
- 男女共同参画について
 - (1)市民意識調査の結果と分析について (2)第4次実施計画の特徴について

谷藤利子議員(日本共産党)

- 保育園保育料について
 - (1)保育料改定について (2)第3子保育料無料化の存続について
- 行徳地域の歩行者の安全対策について
 - (1)行徳駅前バス通りと県道市川浦安線の交差点の安全対策について
 - (2)新井自治会館横三差路に押ボタン式信号機や横断歩道が設置できないか。また、新井寺からバス路線に出たところにカーブミラーはつけられないか
- 行徳駅前公園研修室の改修と今後について
 - (1)老朽化の現状について (2)当面の改修と今後の考え方について

大場 諭議員(公明党)

- 防犯対策
 - (1)防犯に強いまちづくりへの取り組みについて
 - (2)対策の効果と今後について
 - ア. 街頭防犯カメラ イ. 青色防犯パトロールカー
- 消防行政
 - (1)救急救命士の使命について
 - (2)救急救命士数の現状と今後の計画について
 - (3)救急救命士になるまでのプロセスと生涯教育について
- 財政運営
 - (1)資産有効活用に向けた市の考え方について
 - (2)北消防署大野出張所跡地利用の考え方について
- 農地、緑地への不法投棄根絶に向けた市の取り組みについて

議案等の審議結果一覧

Table with columns for item name, party support (賛否), and decision result (審議結果). Includes items like '市川市行政組織条例の一部改正について' and '平成23年度市川市一般会計予算'.

※出席した会派の議員全員が、賛成：○、反対：×、出席した会派の議員の一部が賛成・一部が反対：△
※議員別の賛否は市川市議会のホームページに掲載しています。

人事議案
市長から、教育委員会委員の任命、及び固定資産評価審査委員会委員の選任について...

請願・陳情
2月定例会には、新たに請願6件が提出され、閉会...

審議未了とは
市川市議会では、当該定例会中に開催された委員会において結論の出ないものは、通常、閉会中継続審査事件として...

インターネット 議会中継のご案内
市川市議会では、議場での本会議の様子をインターネットでそのままライブと録画で配信しています。

平成23年定例会開会予定日
6月定例会 6月10日(金)
9月定例会 9月2日(金)
12月定例会 11月25日(金)

- List of council members by party: 田中 庸恵 (公明), 湯浅 止子 (自由クラブ), 岩井 清一郎 (市民ネット), etc.

※○は会派代表者。(この会派別議員名簿は3月18日現在のものです)